

# 日本組織適合性学会誌 MHC の投稿規定

## 1. 投稿規定

### 1.1. 原稿様式

提出原稿がそのまま電算写植で印刷できるように、原稿は全て、コンピューターのフロッピーディスクとA4サイズでプリントアウトしたものの両者を提出する。ソフトはMSWordとする。字体、サイズ、行の字数、行間、などの体裁は自由とする。また、図表については、写植でそのまま掲載できるものを提出するが、挿入箇所を本文に指定する。図については天地を明示する。印刷の際に、縮小または拡大する場合があるので、考慮すること。また、図表の題や説明はワードで、本文とは別頁に添付する。なお、掲載された論文等の著作権は、日本組織適合性学会に属し、インターネットを通じて電子配信されることがあります。

### 1.2. 原著論文

会員からの投稿を原則とするが、編集委員会が依頼することもありうる。日本語、英語を問わない。最初の一頁はタイトルページとし、タイトル、著者名、所属、脚注として代表者とその連絡先(電話、FAX、E-mail、郵便番号、住所)を記す。タイトル、著者名、所属は次の様式にしたがう。

Nucleotide sequence for a Cw8 subtype, Cw8N, and its association with HLA-B alleles. Fumiaki Nakajima<sup>1)</sup>, Yoshihide Ishikawa<sup>2)</sup>, Junko Nakamura<sup>1)</sup>, Toshio Okano<sup>1)</sup>, Chieko Mori<sup>1)</sup>, Toshikazu Yokota<sup>1)</sup>, Ling Lin<sup>2)3)</sup>, Katsushi Tokunaga<sup>1)</sup> and Takeo Juji<sup>1)</sup>

- 1) Kanagawa Red Cross Blood Center, Kanagawa, Japan
- 2) Department of Research, Japan Red Cross Central Blood Center, Tokyo, Japan
- 3) Department of Transfusion and Immunohematology, University of Tokyo, Tokyo, Japan

HLA-Cw8 のサブタイプ “Cw8N” の塩基配列および

### HLA-B 座との関連分析

中島 文明<sup>1)</sup>, 石川 善英<sup>2)</sup>, 中村 淳子<sup>1)</sup>, 岡野 俊生<sup>1)</sup>, 森 知恵子<sup>1)</sup>, 横田 敏和<sup>1)</sup>, 林 玲<sup>2)3)</sup>, 徳永勝士<sup>2)</sup>, 十字 猛夫<sup>2)</sup>

- 1) 神奈川県赤十字センター, 検査課,
- 2) 日本赤十字中央血液センター, 研究一課,
- 3) 東京大学医学部附属病院, 輸血部,

内容は二頁目よりはじめ、要約 (Summary)、はじめに (Introduction)、材料と方法 (Materials and Methods)、結果 (Results)、考察 (Discussion)、参考文献 (References) の順に記載する。また、要約の末尾に日本語で5語以内のキーワードを加える(英文の場合には英語の Key words を加える)。脚注は適宜、設けてもよい。日本語で投稿の場合には、末尾に英語のタイトル、著者名、所属(様式は上述に従う)、英語の要約と英語で5語以内の Key words をつける。枚数に特に指定はないが、速報的な短報(全体で、2,000~3,000字、出来上りA4版で2~4枚程度)を中心とする。もちろん、full article も歓迎する。また、新対立遺伝子、日本人に認められた希な対立遺伝子に関する報告も受け付ける。なお、参考文献 (References) の記載については、下記 1.5 を参照すること、オリジナル1部にコピー3部を添えて、編集長宛(下記3参照)に送付する。

### 1.3. 総説、シリーズその他

編集委員会からの依頼を原則とするが、会員からの投稿も大いに歓迎する。日本語を原則とする。タイトル、著者名、所属は上記 1.2. の通りにしたが、要約と要約の末尾に日本語で5語以内のキーワードを添える。その他の体裁は自由とするが、構成がいくつかの章、節などから成る場合には、次の番号に従い、適当な見出しを添える。

1. 2. 3. 4. ……
- 1.1. 1.2. 1.3. ……
- 1.1.1. 1.1.2. 1.1.3. ……

脚注は適宜，設けてもよい。なお，参考文献 (References) の記載については，下記 1.2. を参照すること。

#### 1.4. 校正

校正は編集委員が行い，特別な場合を除き，執筆者は校正を行わない。

#### 1.5. 参考文献

参考文献は，本文中に数字で，例えば (3)，の様に表示し，末尾にまとめて，次のようなスタイルで記載する。ただし，著者名，または編集者名は，筆頭 3 名まで記載し，以下は省略する。

1. Komatsu-Wakui M, Tokunaga K, Ishikawa Y, *et al.*: Wide distribution of the MICA-MICB null haplotype in East Asian. *Tissue Antigens* **57** (1): 1–8, 2001.
2. Tokunaga K, Imanishi T, Takahashi K, *et al.*: On the origin and dispersal of East Asian populations as viewed from HLA haplotypes. *Prehistoric Mongoloid Dispersals* (eds. Akazawa T, Szathmary

EJ), Oxford University Press, p. 187–197, 1996.

3. 徳永勝士，尾本恵市，藤井康彦ら：HLA に連鎖した遺伝標識に関するハプロタイプ調査，移植，**18**: 179–189, 1983.
4. 徳永勝士，大橋 順：疾患遺伝子の探索．わかる実験医学シリーズ「ゲノム医学がわかる」(菅野純夫編)，羊土社，p. 48–55, 2001.

#### 2. 別刷

原著論文については，別刷は有料とする。その費用は部数，頁数による。

#### 3. 原稿送付先

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学大学院医学系研究科  
人類遺伝学分野  
日本組織適合性学会誌 MHC  
編集長 徳永 勝士

TEL: 03-5841-3692

FAX: 03-5802-2907

E-mail: tokunaga@m.u-tokyo.ac.jp

**編集後記**

9月に軽井沢で行いました第7回アジアオセアニア組織適合性会議と第12回日本組織適合性学会を、皆様の暖かいお力添えによりまして、無事終了することができました。特にアジアオセアニア組織適合性会議については、1998年インドのデリーでの前回大会より、大会長の指名を受けてから5年もの長き間(最初の予定では2002年に行なう予定でしたが、シアトルの第13回国際組織適合性会議が一年間延期されたので、それに呼応してアオセアニア組織適合性会議も一年間延期して2003年開催になりました)、心に残っていた難題に満ちた宿題から、解放された気分です。しかしながら、一年間延期したお陰で、2003年4月のヒトゲノム全塩基配列の決定を受けて、アオセアニア組織適合性会議ではゲノム多様性を前面にうちだすことができ、HLA領域での新しいが学問の局面を会議で提示しえたことは、良かったと思います。すなわち、個々人のゲノム配列上の多型を突きつめることにより、疾患、移植、進化、連鎖、ハプロタイプなど重要な生物現象を分子レベルで、遺伝学的に捉えることができる基盤をHLA領域上でしめせたことです。これらの試みは、2005年にメルボルンで開催される14回国際組織適合性会議に引き継がれることになっています。会長のJames McCluskeyの手腕に期待しましょう。

猪子 英俊

**MHC バックナンバー**

一冊¥2,000にて購入可能です。学会事務局までお問い合わせ下さい。発行より2年を経過したものは、在庫が少数になっている場合もありますのでご了承ください。

**入会・変更**

新入会、住所変更は学会事務センターまでお問い合わせください。また、日本組織適合性学会ホームページの入会申込書もご利用下さい。

(社)学会事務センター

〒113-8622

東京都文京区本駒込5-16-9 学会センター C21

TEL: 03-5814-5810

FAX: 03-5814-5825

**日本組織適合性学会ホームページ**

学会活動に関する情報やHLA遺伝子の塩基配列情報が利用できます。

<http://square.umin.ac.jp/JSHI/mhc.html>

<http://jshi.umin.ac.jp/mhc.html>

**MHC**

Major Histocompatibility Complex

Official Journal of Japanese Society for Histocompatibility and Immunogenetics

2004年1月31日発行 10巻3号, 2004

定価 2,000円

発行 日本組織適合性学会(会長 猪子 英俊)

編集 日本組織適合性学会編集委員会(編集担当理事 徳永 勝士)

平成8年7月24日 学術刊行物認可

日本組織適合性学会事務局(事務担当理事 十字 猛夫)

〒259-1193 神奈川県伊勢原市望星台 東海大学医学部分子生命科学系遺伝情報部門内

印刷・研究社印刷株式会社

〒352-0011 埼玉県新座市野火止7-14-8